

## 平成 26 年 労働災害発生システム集計報告

日頃より協会行事にご協力を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。  
また、労働災害発生システムの報告では、各地区本部、各都道府県協会及び各会員のご担当者様にはご尽力を賜り重ねてお礼申し上げます。

さて、本集計報告は、毎月ご報告いただいております労働災害発生システム報告書の平成 26 年分を取り纏めたものです。また、労働災害防止対策に役立てることを目的に集計・分析し、収支改善対策における基礎資料の一つとしてご活用していただきたい、と考えています。

つきましては、皆様方におかれましても、本集計報告を積極的に労働安全衛生大会や所管労働委員会等で活用し、関係各位へ周知して頂きますとともに、引き続き労働災害撲滅の活動に努めて頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会  
労働管理委員会

### 目 次

図 1 厚生労働省公表労災件数（休業 4 日以上）・全協労災システム報告件数推移	1
図 2 報告書回収・労災発生状況	1
図 3 協会別<年間>会員数・報告書回収数・労災発生件数	2
図 4 協会別<月平均>会員数・報告書回収数・労災発生件数	3
図 5 協会別<年間>報告書回収率・労災発生率	4
図 6 ①-1 事故の型別一月別	5
図 7 ①-2 事故の型別一割合	5
図 8 ①-3 事故の型別一協会別	6
図 9 ②-1 年齢階級別死傷者数一月別	7
図 10 ②-2 年齢階級別死傷者数一割合	7
図 11 ②-3 年齢階級別死傷者数一協会別	8
図 12 ③-1 発生時間対別発生件数一月別	9
図 13 ③-2 発生時間対別発生件数一割合	9
図 14 ③-3 発生時間対別発生件数一協会別	10
図 15 ④-1 休業日数一月別	11
図 16 ④-2 休業日数一割合	11
図 17 ④-3 休業日数一協会別	12
■重篤災害	
図 18 重篤災害件数推移（H24～H26）	13
図 19 平成 26 年重篤災害件数（内訳）	13
図 20 平成 26 年重篤災害 職種別	13
図 21 平成 26 年重篤災害 男女別	14
図 22 平成 26 年重篤災害 協会別発生件数	14
図 23 平成 26 年重篤災害 型別	14
図 24 平成 26 年重篤災害 月別発生件数	15
図 25 平成 26 年重篤災害 曜日別発生件数	15
図 26 平成 26 年重篤災害 時間別発生件数	15
図 27 平成 26 年重篤災害 年齢別	16
図 28 平成 26 年重篤災害 経験年齢別	16
表 1 平成 26 年重篤災害報告内容	17

※ 1.年間集計は 1 月～12 月集計。

※ 2.会員数は、毎月の労災システム報告書に記載された会員数。

※ 3.北海道は準会員含む。

※ 4.報告書回収率＝報告書回収数／会員数

※ 5.労災発生率＝労災発生件数／報告書回収数

## 非会員企業への安全衛生大会等への参加協力要請について

図1の労働災害発生件数(休業4日以上)は、厚生労働省と全協労災システムとは大きな差があります。例えば、平成26年では2,036件の差があり、この差は、次のことが考えられます。一つ目は、労災システムの回収率は約60%(図2)であり、回収率100%の数字ではないので大きな差が生じます。二つ目は、非会員企業の労働災害発生件数は、当全協は把握できません。労働災害防止には会員企業、非会員企業が同じように取り組む必要があります。今後につきましても非会員企業に対する安全衛生大会等への積極的な参加促進活動をお願い致します。また、非会員企業へのアプローチにつきましては、本省に対しまして各都道府県労働局への協力依頼を折衝中です。

なお、以下の図表等は、毎月ご報告いただいた件数の集計結果です。ご査収ならびにご活用方、宜しくお申し上げます。

図1

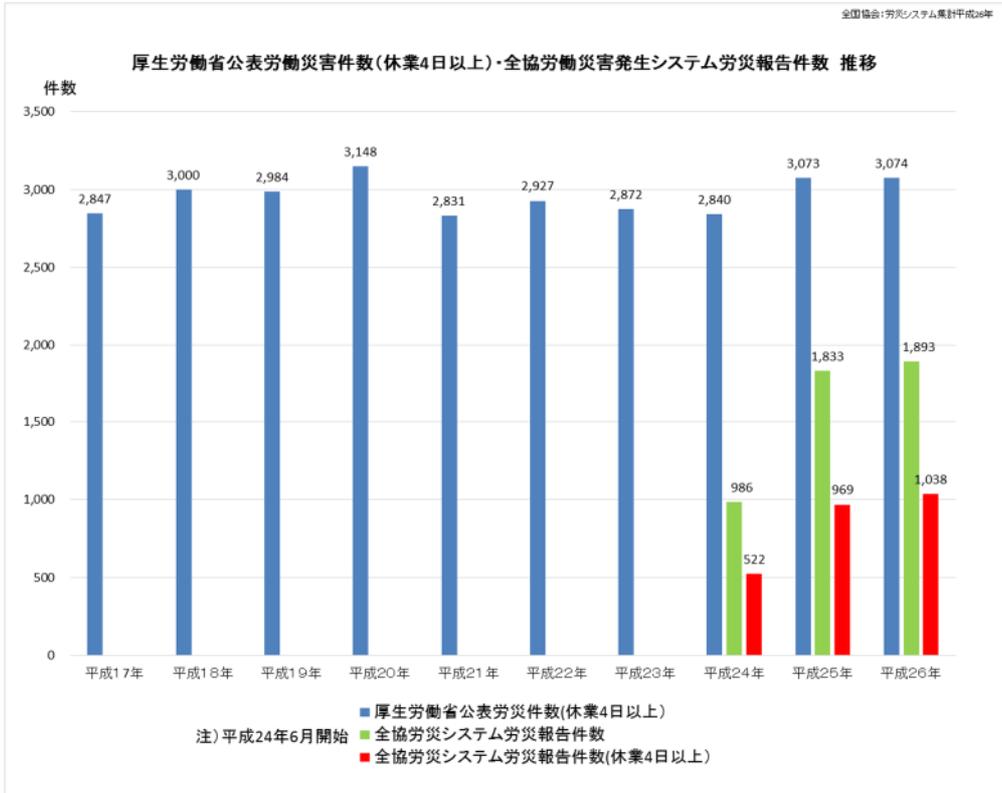


図2

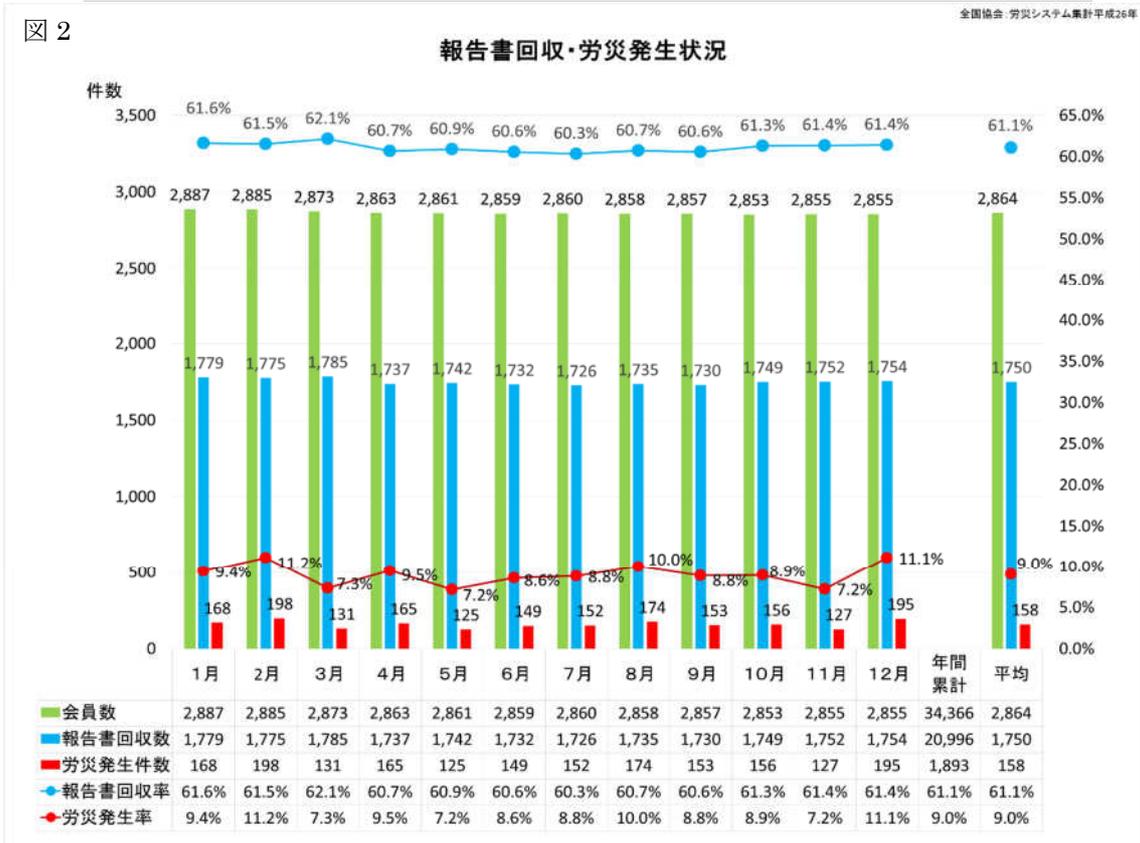


図3は、平成26年1月～12月までの報告書回収数の累計と災害発生件数の合計です。従いまして会員数は1.2倍となっています。会員数と報告書回収数が同数の場合が回収率100%となり、中国と九州地区の全ての県協会は会員数と報告書回収数が同数ですので回収率が100%となります。

図3

協会別＜年間＞ 会員数・報告書回収数・労災発生件数

全国協会：労災システム集計平成26年

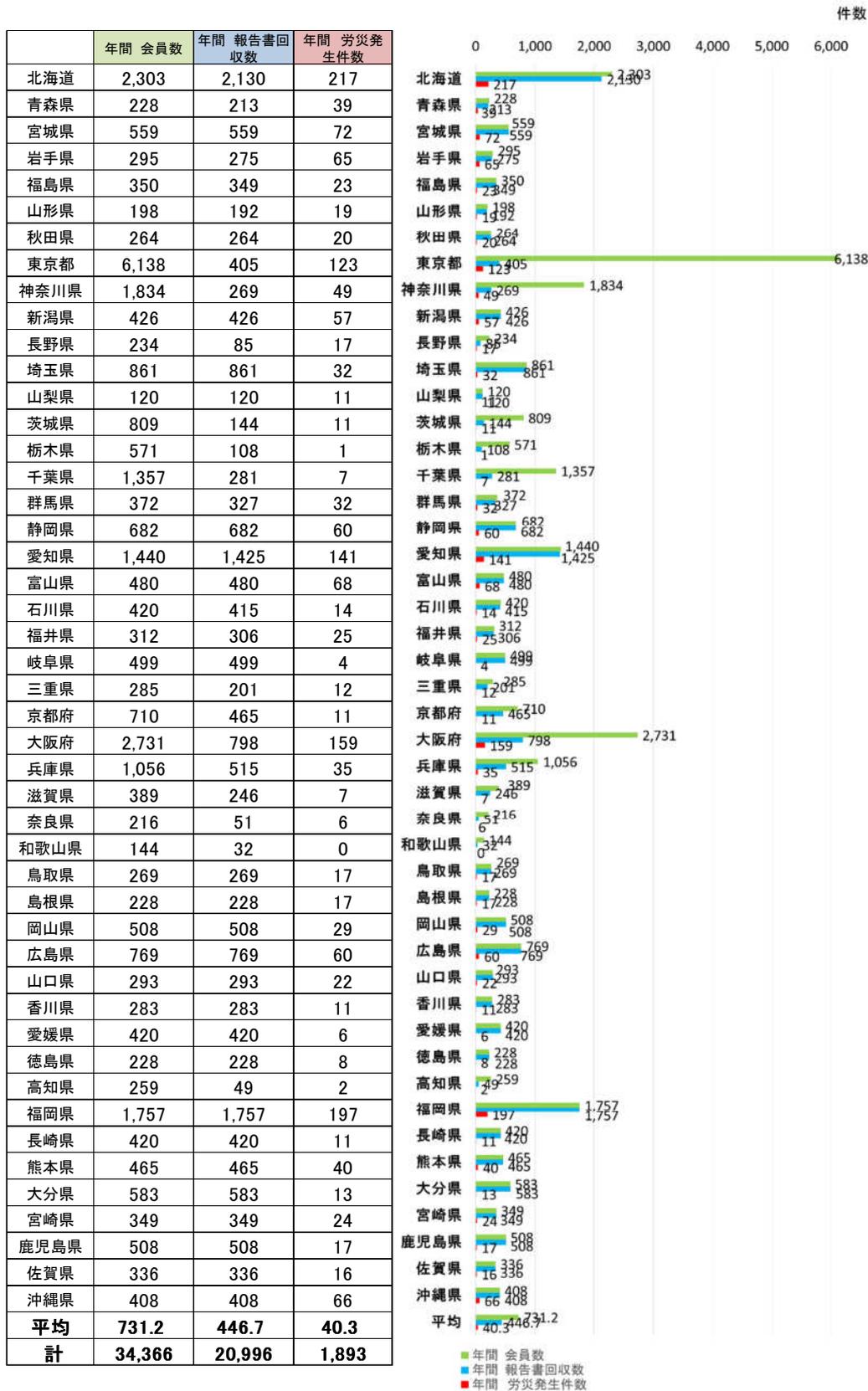


図4は、前頁の図3の年間累計数を12で割り、一ヶ月平均で表したものです。

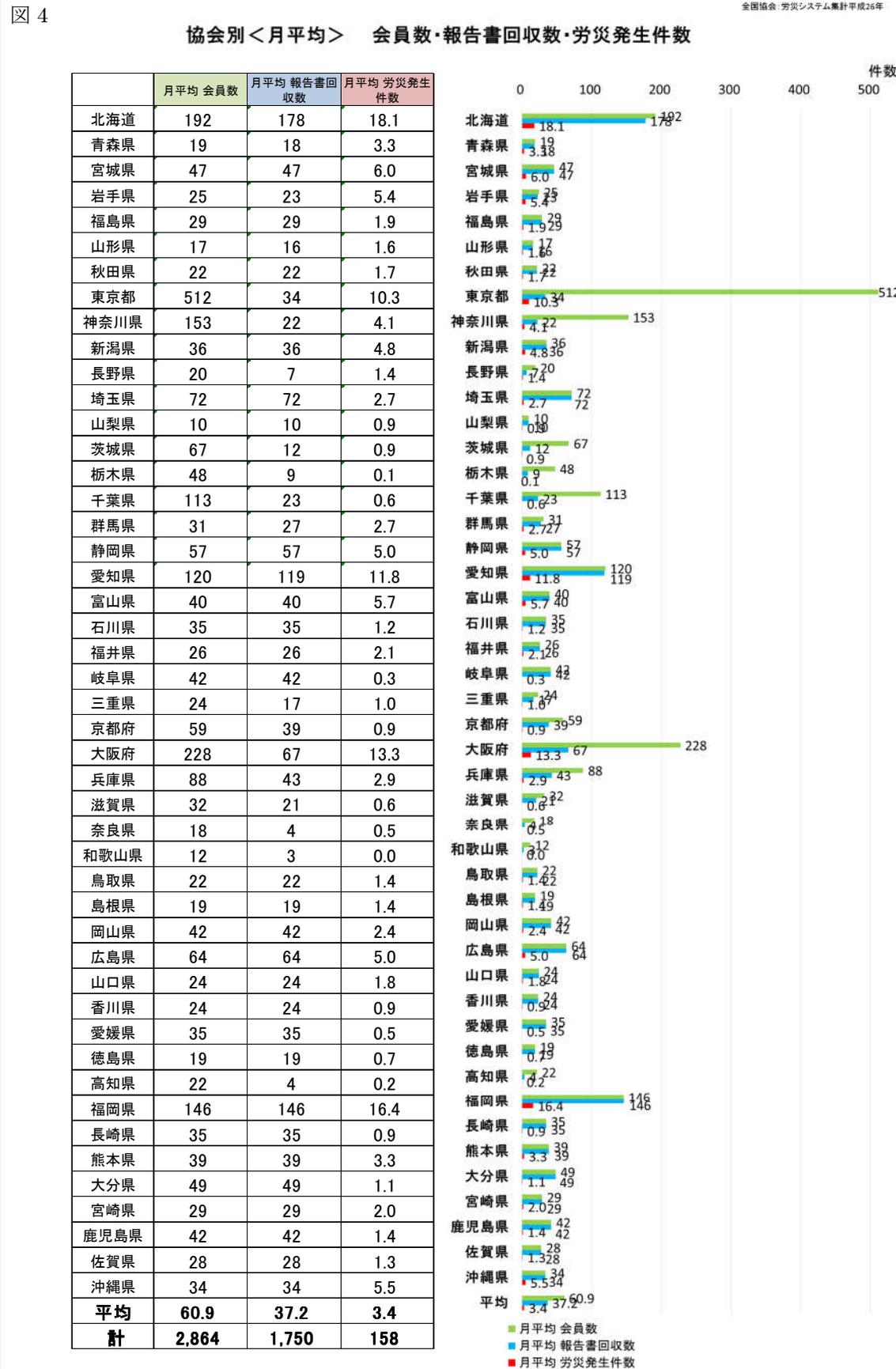


図5は、2頁の図3の年間報告書回収数、年間労災発生件数をそれぞれ率（%）で表したものです。回収率100%の中国、九州地区以外にも、90%～100%の協会も多数あります。

図5

協会別＜年間＞ 報告書回収率・労災発生率

全国協会：労災システム集計平成26年

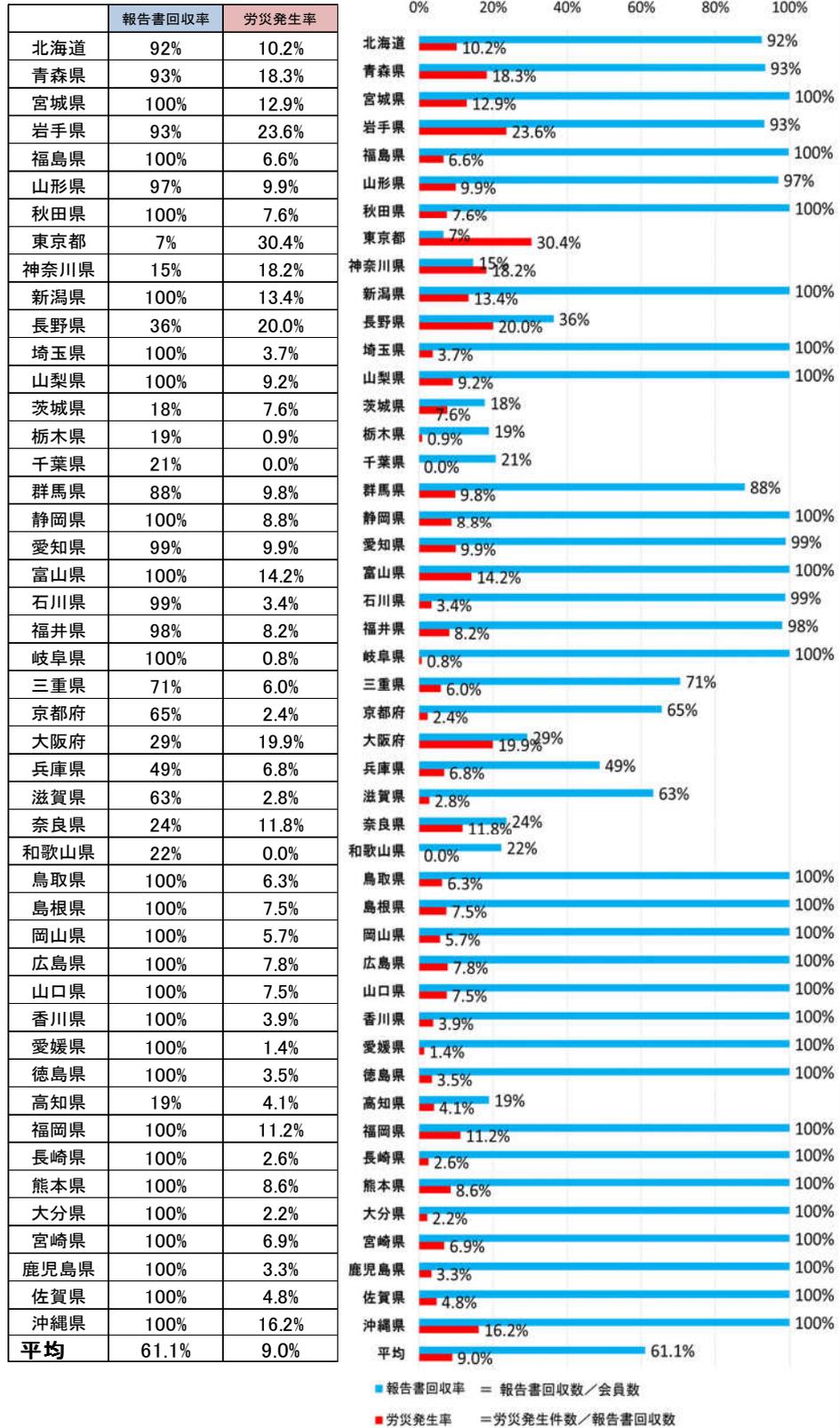


図6、図7、図8は、事故の型別です。発生件数は2月、12月が多くなっています。また、事故の型では転倒が最も多く発生し、労働災害全体に占める割合は43%を占め、次いで墜落・転落の10%となっております。

図6

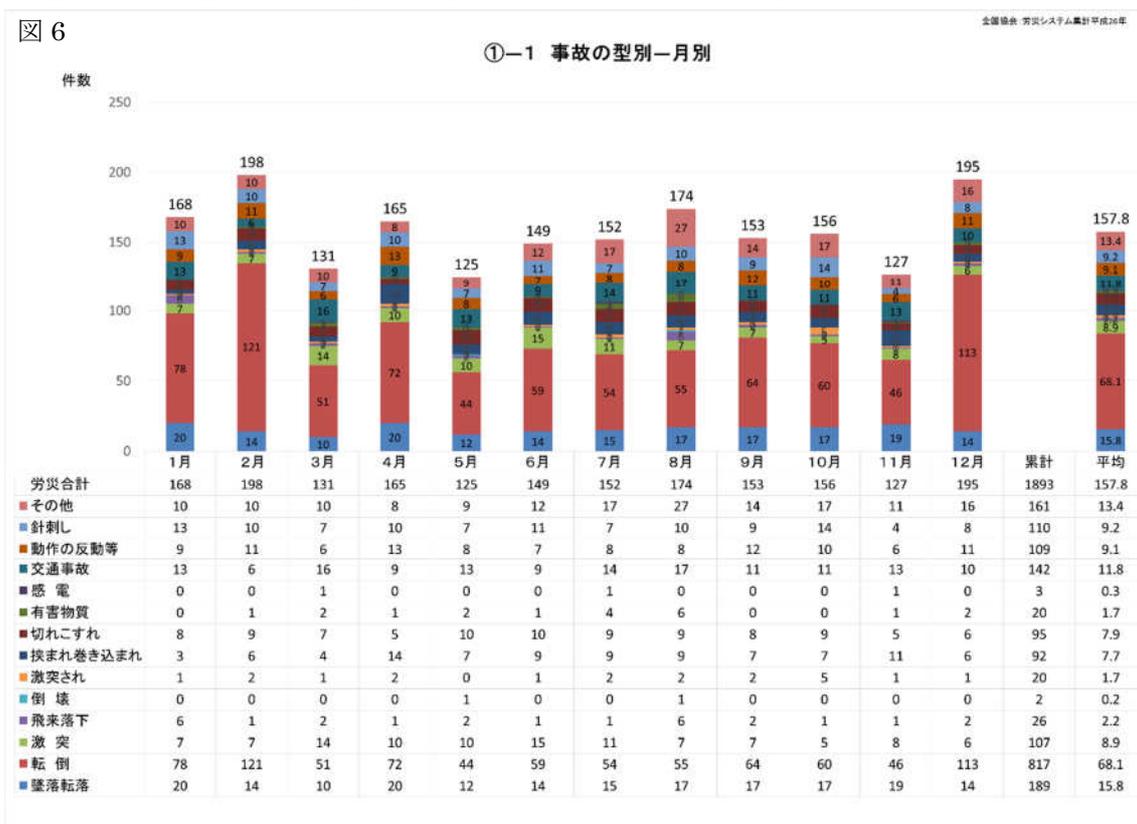


図7

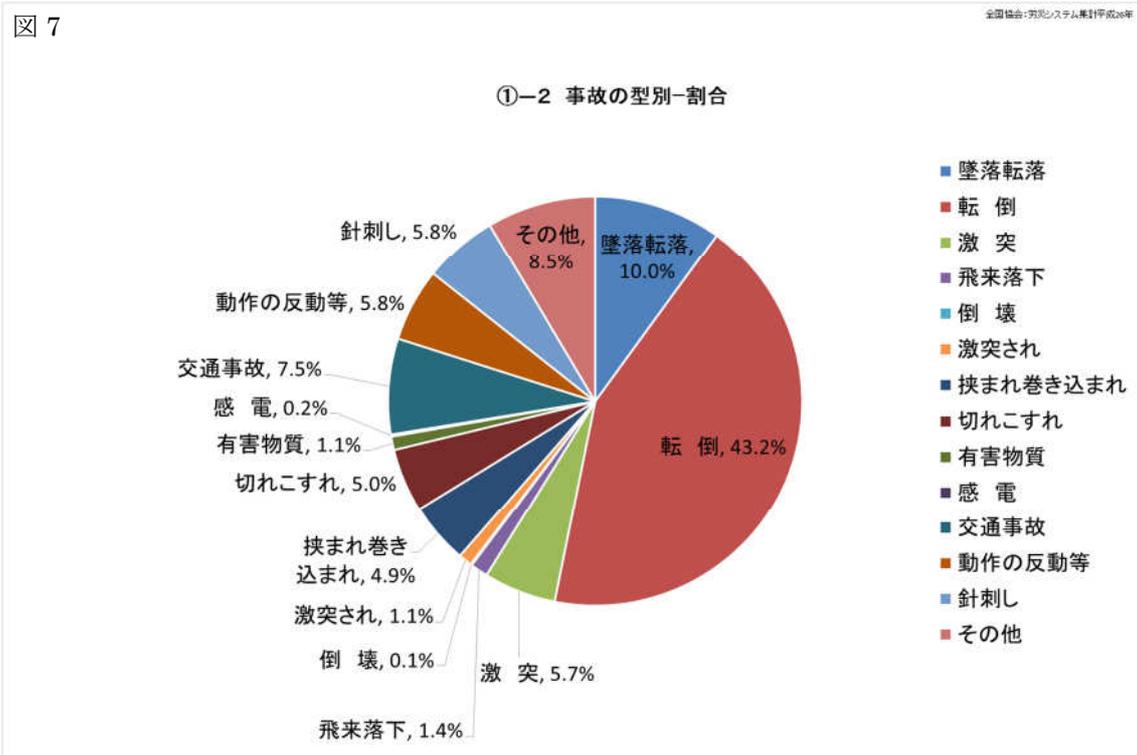


図 8

①-3 事故の型別—協会別

	墜落 転落	転倒	激突	飛来 落下	倒壊	激突 され	挟まれ 巻き込ま れ	切れこ すれ	有害 物質	感電	交通 事故	動作の 反動等	針刺し	その他	累計
北海道	21	114	18	1	0	8	8	11	1	1	7	15	4	8	217
青森県	5	18	3	1	0	0	3	0	0	0	3	0	1	5	39
宮城県	1	28	8	3	0	0	3	1	2	0	6	12	4	4	72
岩手県	4	27	4	0	0	2	6	7	2	0	3	3	2	5	65
福島県	6	11	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	23
山形県	3	11	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	19
秋田県	1	8	0	1	0	0	1	3	0	0	2	0	0	4	20
東京都	12	48	6	3	0	4	8	5	1	0	5	21	6	4	123
神奈川県	5	27	1	0	0	2	0	2	0	0	1	5	2	4	49
新潟県	3	25	6	0	0	0	2	0	2	0	8	1	6	4	57
長野県	1	7	3	0	0	0	3	0	0	0	1	1	1	0	17
埼玉県	1	17	0	1	0	0	1	4	0	0	1	0	2	5	32
山梨県	1	6	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	11
茨城県	0	6	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	11
栃木県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
千葉県	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	7
群馬県	0	16	1	1	0	0	1	2	0	0	2	3	4	2	32
静岡県	4	24	3	1	0	0	4	5	0	0	1	4	3	11	60
愛知県	16	53	3	3	0	1	10	10	1	0	8	7	8	21	141
富山県	7	30	5	1	0	0	6	5	0	0	5	3	1	5	68
石川県	1	7	0	1	0	0	1	2	0	0	1	0	0	1	14
福井県	1	14	1	0	0	1	0	0	0	0	3	1	0	4	25
岐阜県	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4
三重県	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	12
京都府	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	4	11
大阪府	21	75	9	3	1	1	8	6	1	0	9	3	4	18	159
兵庫県	7	12	0	2	0	0	2	2	3	0	1	2	3	1	35
滋賀県	2	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	7
奈良県	1	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	6
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	4	6	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	2	17
島根県	4	3	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	4	2	17
岡山県	1	16	2	0	0	0	0	1	0	0	4	1	2	2	29
広島県	7	25	4	0	0	0	1	2	2	1	12	0	5	1	60
山口県	3	10	0	1	0	0	1	2	1	0	2	1	1	0	22
香川県	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	5	1	2	0	11
愛媛県	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6
徳島県	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
高知県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
福岡県	27	58	18	0	1	0	9	5	3	1	26	14	20	15	197
長崎県	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	11
熊本県	10	12	0	0	0	0	1	2	1	0	6	2	2	4	40
大分県	2	9	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	13
宮崎県	0	10	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	2	8	24
鹿児島県	0	9	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1	17
佐賀県	2	4	2	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	2	16
沖縄県	2	34	1	1	0	0	5	1	0	0	5	2	10	5	66
計	189	817	107	26	2	20	92	95	20	3	142	109	110	161	1,893
平均	4.0	17.4	2.3	0.6	0.0	0.4	2.0	2.0	0.4	0.1	3.0	2.3	2.3	3.4	40.3
割合	100%	43.2%	5.7%	1.4%	0.1%	1.1%	4.9%	5.0%	1.1%	0.2%	7.5%	5.8%	5.8%	8.5%	100%

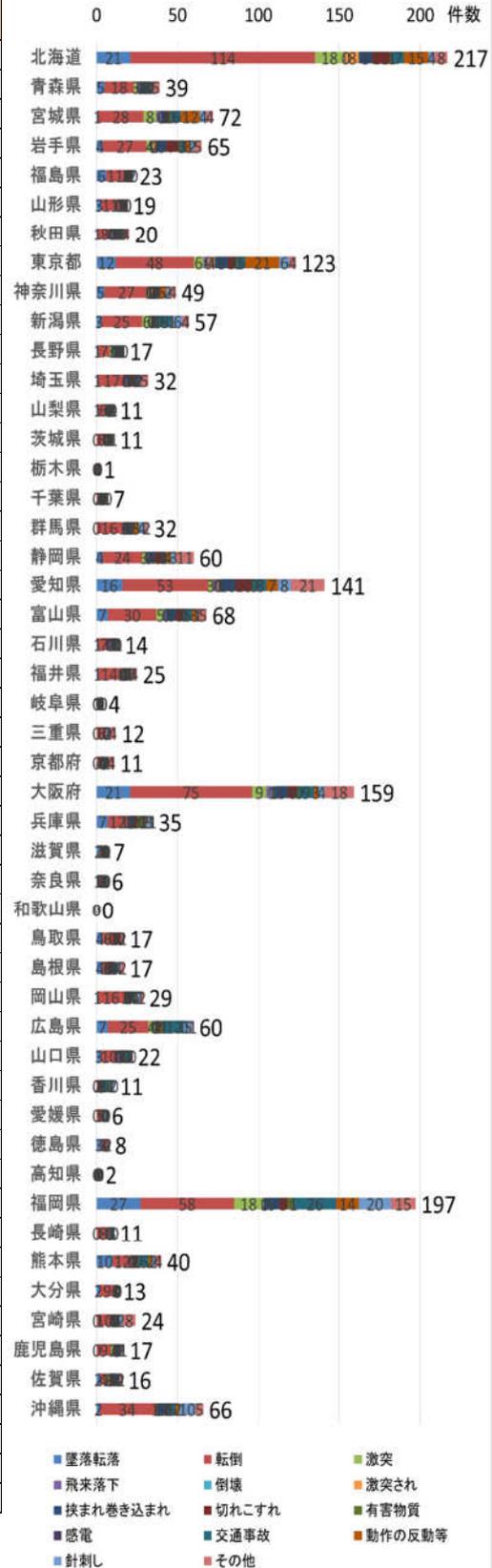


図9、図10、図11は、年齢階級別死傷者数です。50歳以上で労働災害全体の75%強を占めていることがわかります。今後も、特に、50歳以上の労働者の労働災害防止には注力する必要があります。

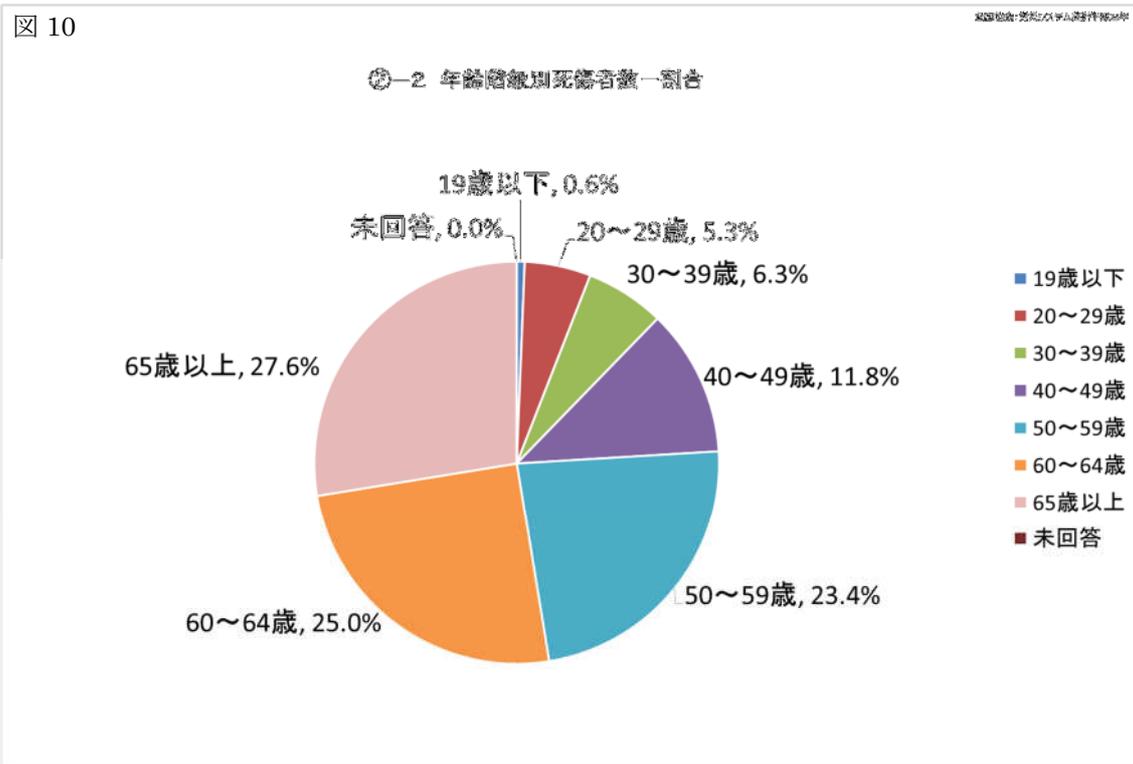
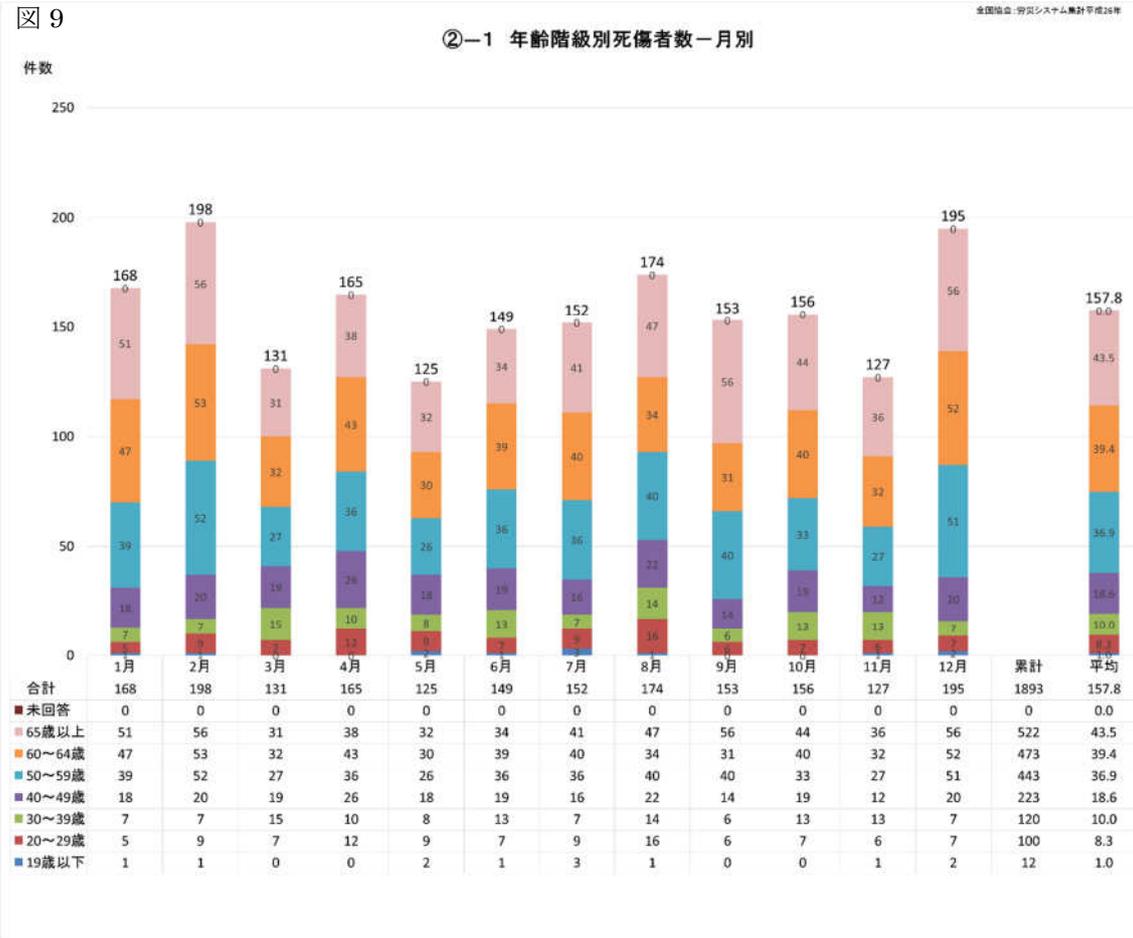


図 11

全国協会 労災システム集計平成26年

②-3 年齢階級別死傷者数—協会別

	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上	未回答	累計
北海道	0	8	9	23	60	55	62	0	217
青森県	0	1	3	4	13	13	5	0	39
宮城県	2	7	5	8	25	18	7	0	72
岩手県	0	4	5	9	27	9	11	0	65
福島県	1	0	1	2	8	8	3	0	23
山形県	0	2	2	4	4	3	4	0	19
秋田県	0	2	2	2	7	5	2	0	20
東京都	0	7	16	21	18	21	40	0	123
神奈川県	0	0	1	7	4	9	28	0	49
新潟県	0	4	2	6	16	22	7	0	57
長野県	0	0	0	1	2	8	6	0	17
埼玉県	0	3	0	1	8	5	15	0	32
山梨県	1	0	0	0	3	1	6	0	11
茨城県	0	1	2	1	2	1	4	0	11
栃木県	0	0	0	1	0	0	0	0	1
千葉県	0	0	0	1	1	3	2	0	7
群馬県	0	1	2	4	5	11	9	0	32
静岡県	0	3	2	10	9	17	19	0	60
愛知県	1	6	7	21	29	31	46	0	141
富山県	0	3	2	5	15	19	24	0	68
石川県	0	1	1	6	1	1	4	0	14
福井県	0	1	1	3	4	11	5	0	25
岐阜県	0	1	0	1	0	0	2	0	4
三重県	0	0	0	0	4	3	5	0	12
京都府	0	1	0	0	3	3	4	0	11
大阪府	2	7	10	14	29	58	39	0	159
兵庫県	0	1	3	5	5	12	9	0	35
滋賀県	0	0	0	1	1	1	4	0	7
奈良県	0	0	0	0	3	1	2	0	6
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	1	0	4	3	4	2	3	0	17
島根県	0	4	3	1	3	1	5	0	17
岡山県	0	2	4	7	3	2	11	0	29
広島県	0	4	5	6	11	12	22	0	60
山口県	0	2	3	1	6	7	3	0	22
香川県	0	0	0	2	1	1	7	0	11
愛媛県	0	0	0	1	1	2	2	0	6
徳島県	0	2	1	0	1	2	2	0	8
高知県	0	0	0	1	1	0	0	0	2
福岡県	2	9	10	20	53	47	56	0	197
長崎県	0	0	0	2	4	2	3	0	11
熊本県	0	2	3	4	11	9	11	0	40
大分県	0	0	1	3	3	3	3	0	13
宮崎県	2	4	2	4	3	6	3	0	24
鹿児島県	0	3	2	1	7	1	3	0	17
佐賀県	0	1	3	4	2	5	1	0	16
沖縄県	0	3	3	2	23	22	13	0	66
計	12	100	120	223	443	473	522	0	1,893
平均	0.3	2.1	2.6	4.7	9.4	10.1	11.1	0.0	40.3
割合	0.6%	5.3%	6.3%	11.8%	23.4%	25.0%	27.6%	0.0%	100%

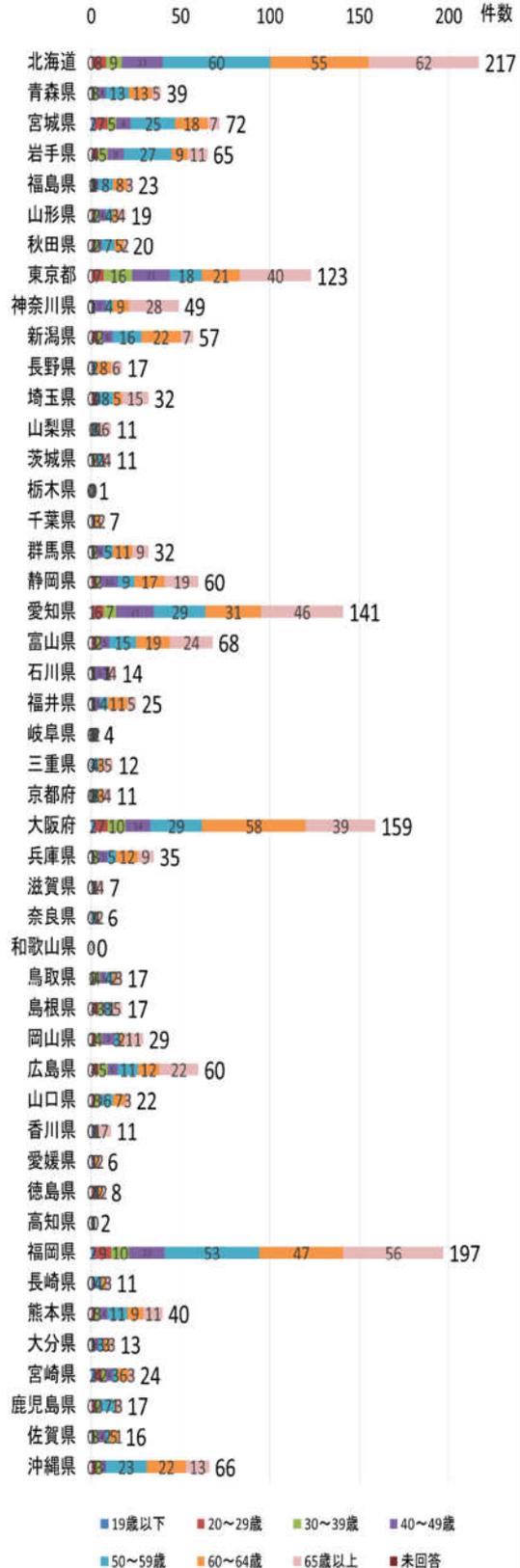


図 12、図 13、図 14 は、発生時間帯別発生件数です。半数以上が午前中に発生し、月別、協会別でもほぼ同様で、最も多い時間帯は「～7時」、「～11時」でそれぞれ21%となっています。このことから労働者の身体が十分に目覚めていない状態で作業を開始していることが推測でき、作業開始前に軽い運動をすると良いと思われます。また、昼前の時間帯では作業を時間内で終わらせようと、急ぐことが災害要因となることが考えられます。

図 12

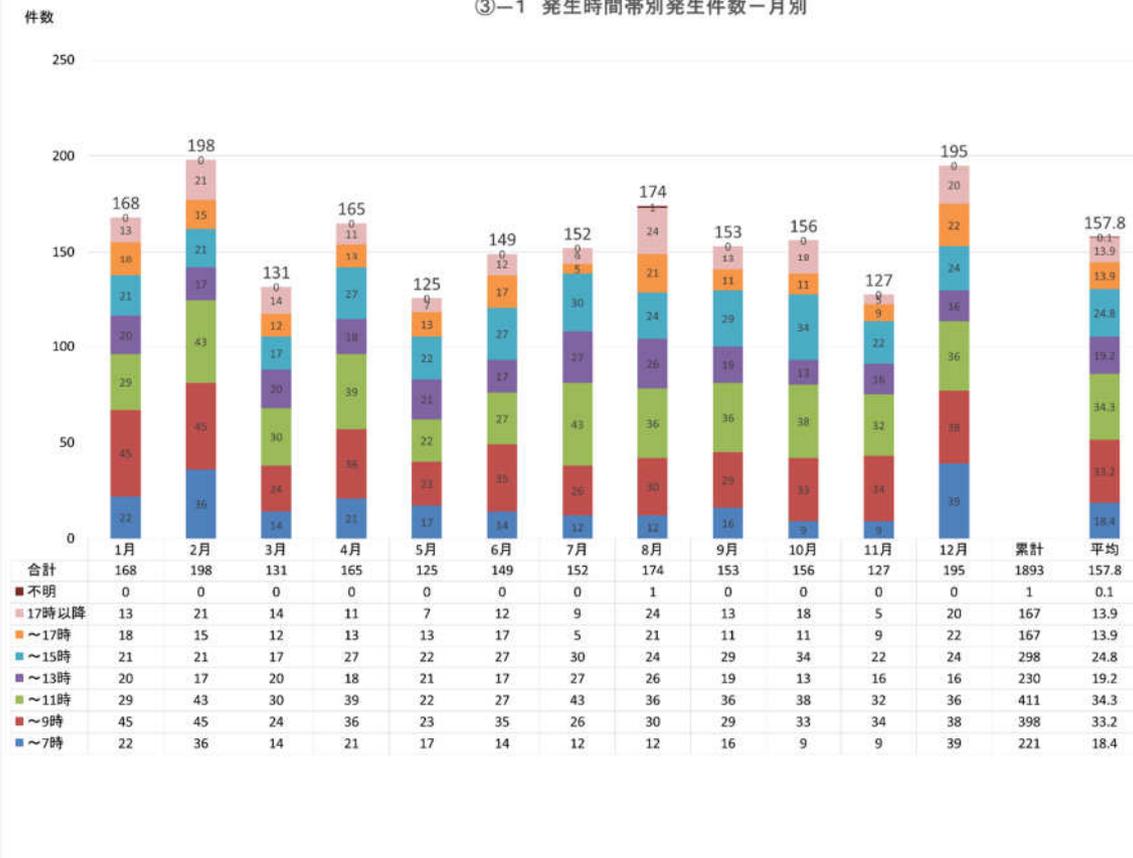


図 13

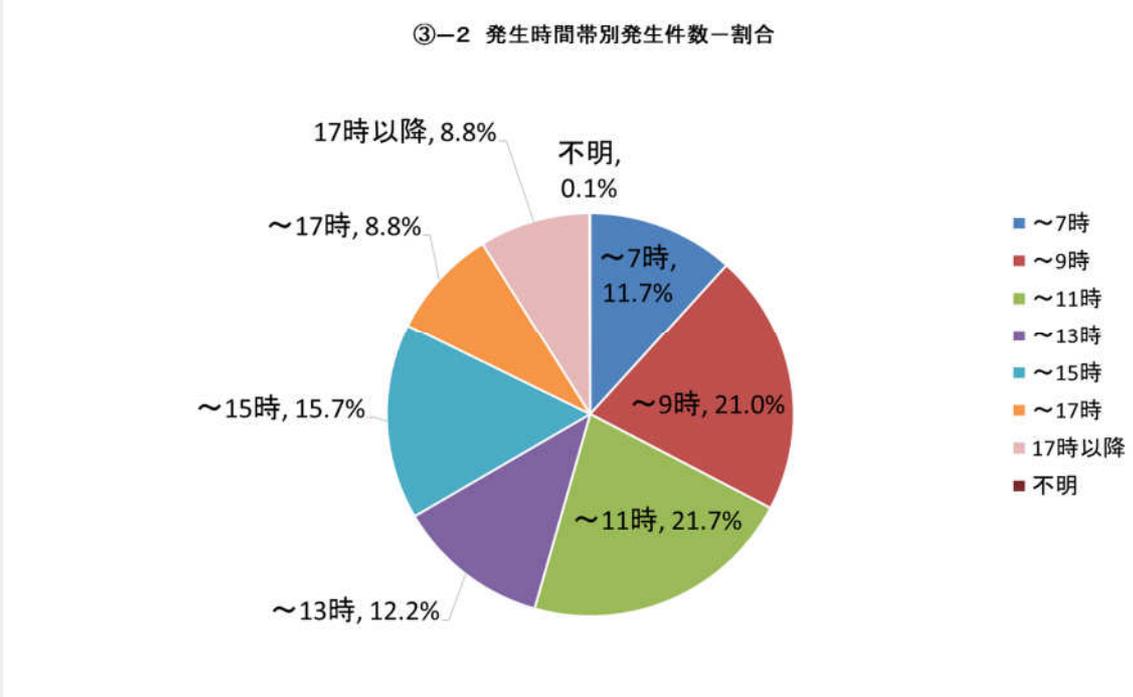


図 14

③-3 発生時間帯別発生件数-協会別

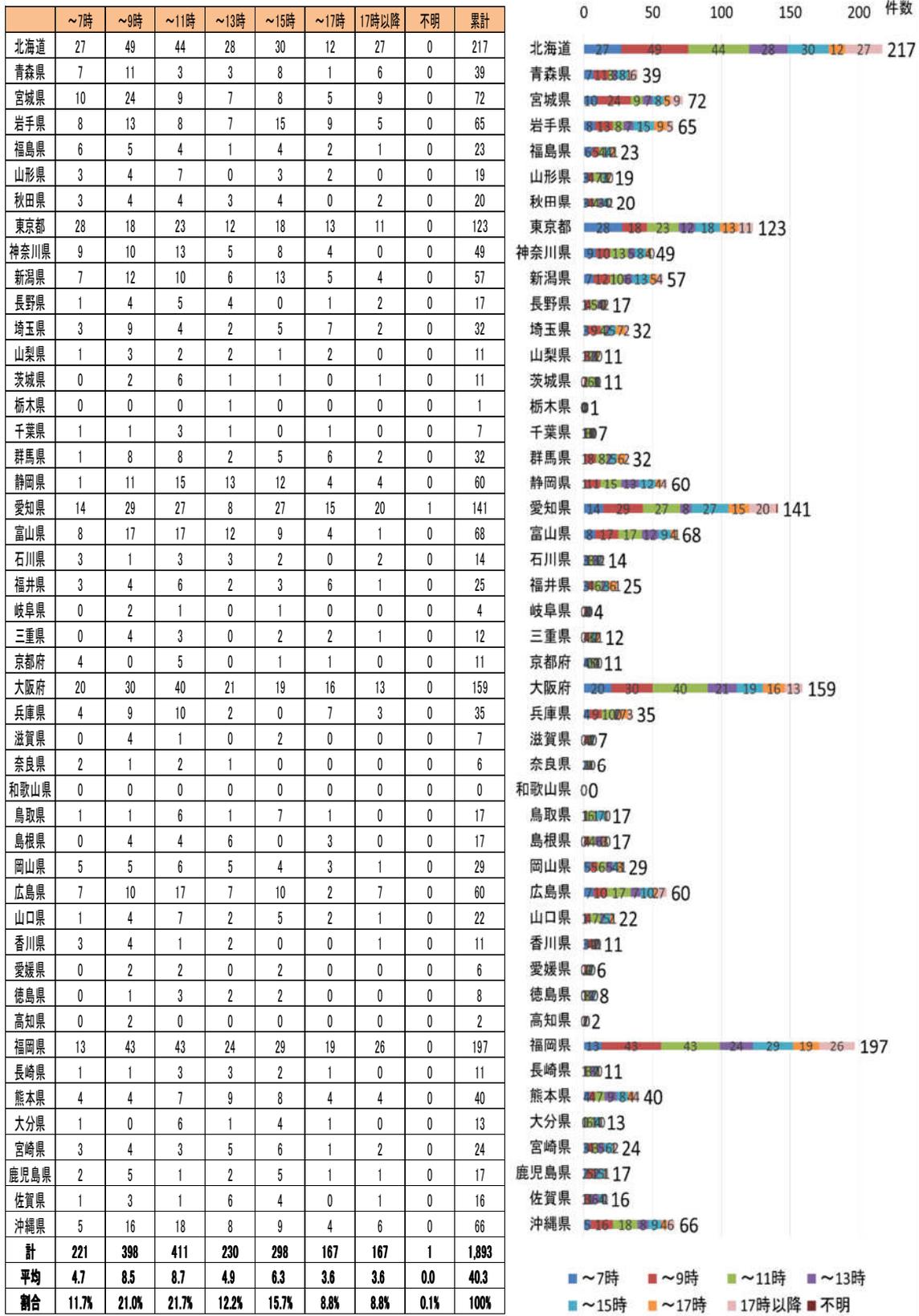


図 15、図 16、図 17 は、休業日数です。多いのは「休業なし」の 35%ですが、休業 4 日以上が占める割合は全体の約 54%と半分以上となっている状況です。

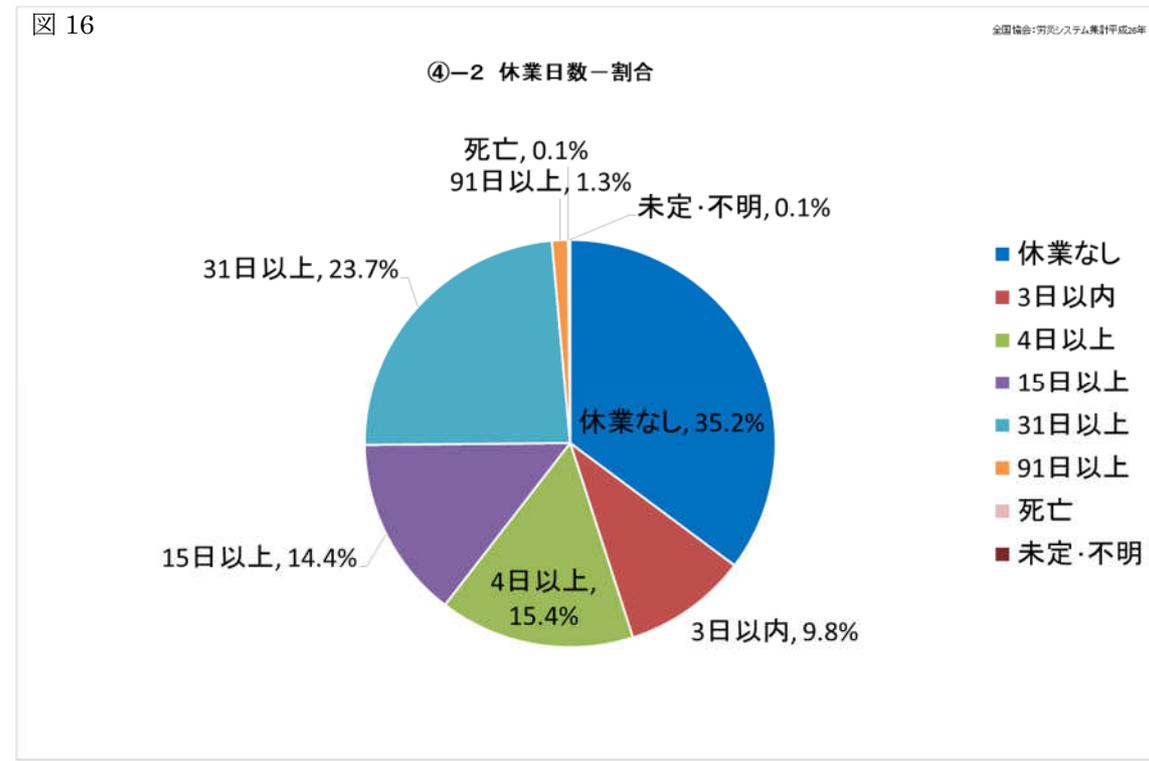
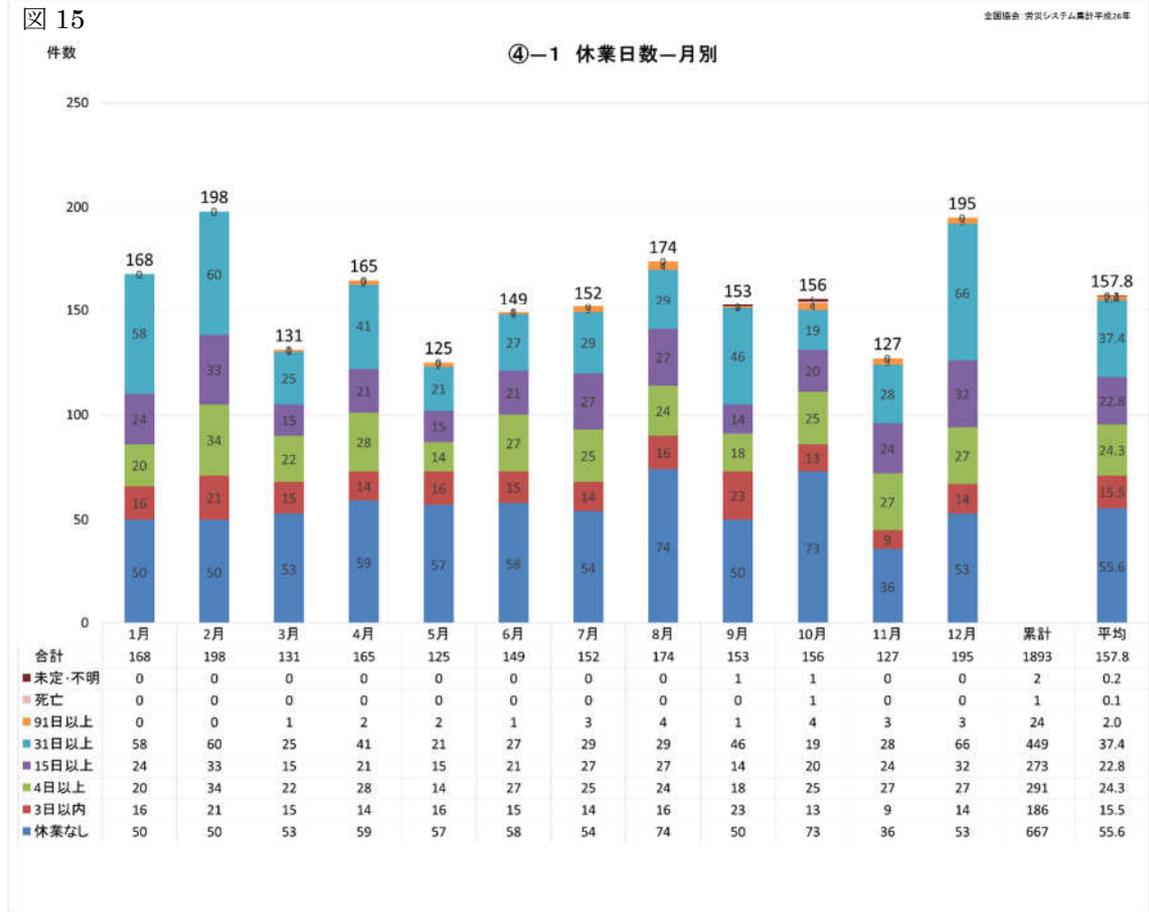
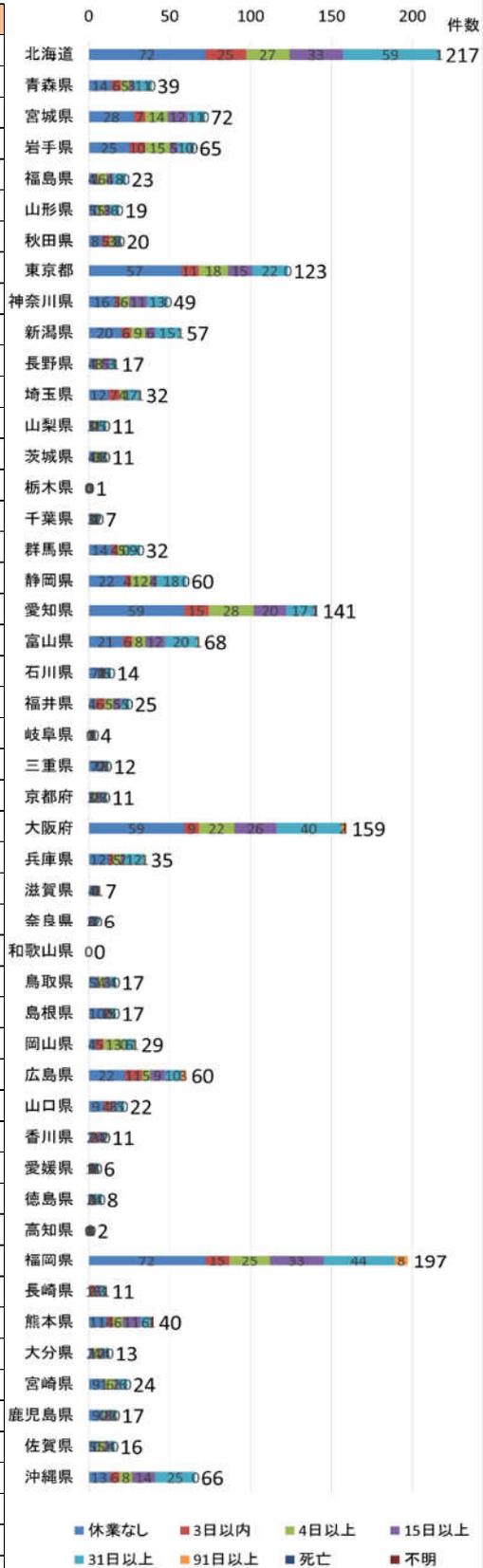


図 17

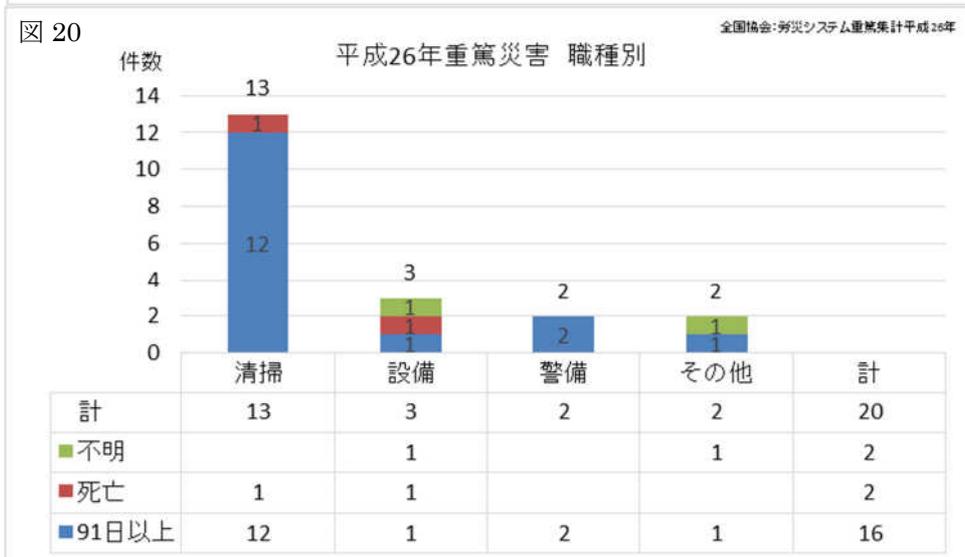
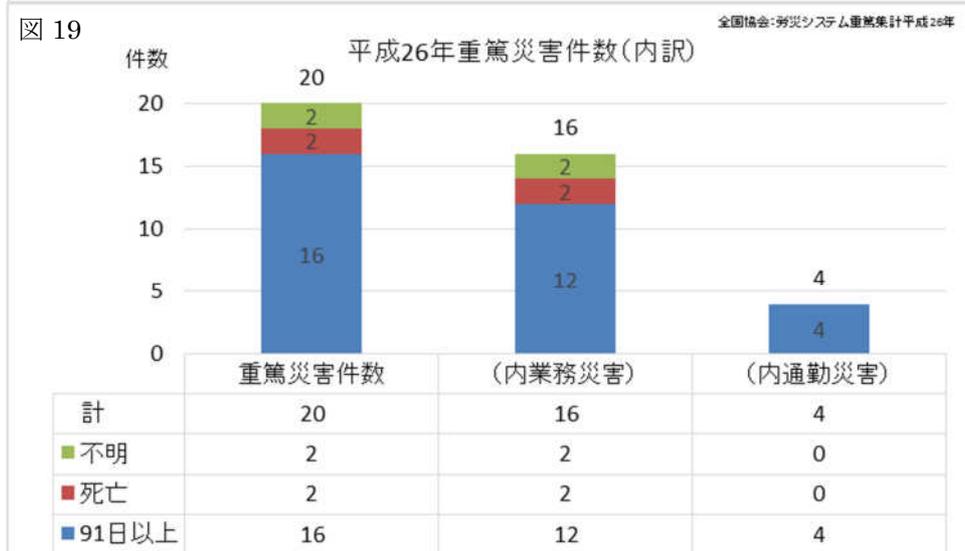
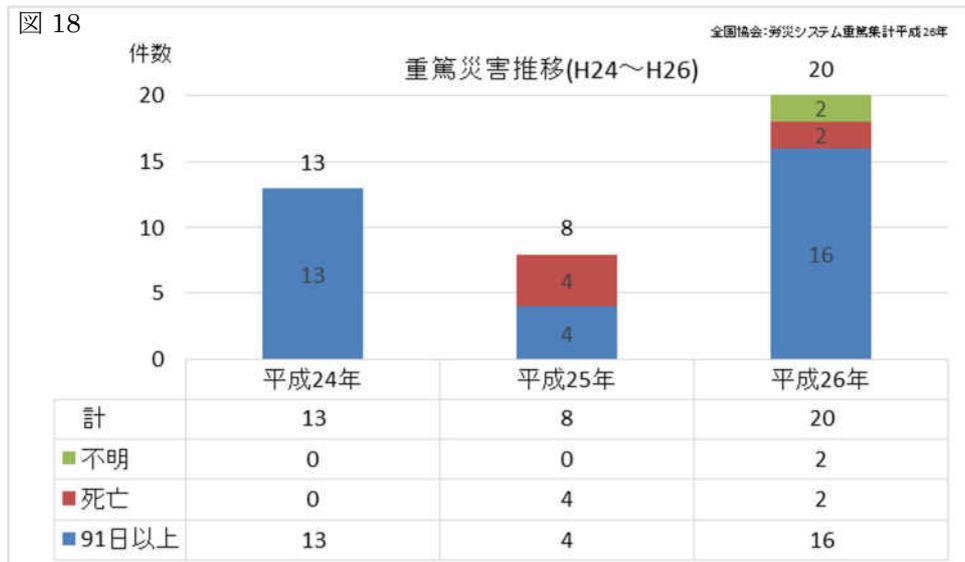
④-3 休業日数－協会別

	休業なし	3日以内	4日以上	15日以上	31日以上	91日以上	死亡	不明	累計
北海道	72	25	27	33	59	1	0	0	217
青森県	14	6	5	3	11	0	0	0	39
宮城県	28	7	14	12	11	0	0	0	72
岩手県	25	10	15	5	10	0	0	0	65
福島県	4	1	6	4	8	0	0	0	23
山形県	5	0	5	3	6	0	0	0	19
秋田県	8	5	3	1	3	0	0	0	20
東京都	57	11	18	15	22	0	0	0	123
神奈川県	16	3	6	11	13	0	0	0	49
新潟県	20	6	9	6	15	1	0	0	57
長野県	4	1	3	5	3	1	0	0	17
埼玉県	12	7	4	1	7	1	0	0	32
山梨県	3	0	2	1	5	0	0	0	11
茨城県	4	0	3	1	3	0	0	0	11
栃木県	0	0	0	1	0	0	0	0	1
千葉県	3	0	1	1	2	0	0	0	7
群馬県	14	4	5	0	9	0	0	0	32
静岡県	22	4	12	4	18	0	0	0	60
愛知県	59	15	28	20	17	1	1	0	141
富山県	21	6	8	12	20	1	0	0	68
石川県	7	1	0	1	5	0	0	0	14
福井県	4	6	5	5	5	0	0	0	25
岐阜県	1	0	1	1	1	0	0	0	4
三重県	7	0	0	2	3	0	0	0	12
京都府	3	0	2	3	3	0	0	0	11
大阪府	59	9	22	26	40	2	0	1	159
兵庫県	12	3	5	2	12	1	0	0	35
滋賀県	4	0	0	1	1	1	0	0	7
奈良県	2	0	0	2	2	0	0	0	6
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	5	1	4	3	4	0	0	0	17
島根県	10	2	0	0	5	0	0	0	17
岡山県	4	5	13	0	6	1	0	0	29
広島県	22	11	5	9	10	3	0	0	60
山口県	9	4	1	3	5	0	0	0	22
香川県	2	2	1	4	2	0	0	0	11
愛媛県	1	1	0	1	3	0	0	0	6
徳島県	2	0	1	1	4	0	0	0	8
高知県	0	1	0	0	1	0	0	0	2
福岡県	72	15	25	33	44	8	0	0	197
長崎県	1	2	1	3	3	1	0	0	11
熊本県	11	4	6	11	6	1	0	1	40
大分県	2	1	4	2	4	0	0	0	13
宮崎県	9	1	6	2	6	0	0	0	24
鹿児島県	9	0	2	3	3	0	0	0	17
佐賀県	5	0	5	2	4	0	0	0	16
沖縄県	13	6	8	14	25	0	0	0	66
<b>計</b>	<b>667</b>	<b>186</b>	<b>291</b>	<b>273</b>	<b>449</b>	<b>24</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>1,893</b>
<b>平均</b>	<b>14.2</b>	<b>4.0</b>	<b>6.2</b>	<b>5.8</b>	<b>9.6</b>	<b>0.5</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>40.3</b>
<b>割合</b>	<b>35.2%</b>	<b>9.8%</b>	<b>15.4%</b>	<b>14.4%</b>	<b>23.7%</b>	<b>1.3%</b>	<b>0.1%</b>	<b>0.1%</b>	<b>100%</b>

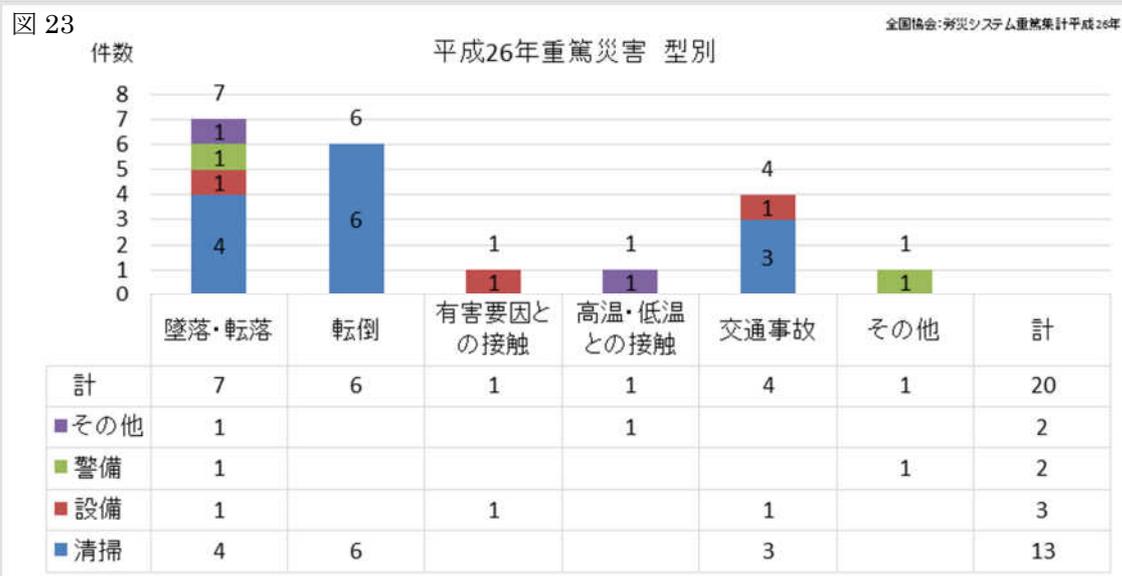
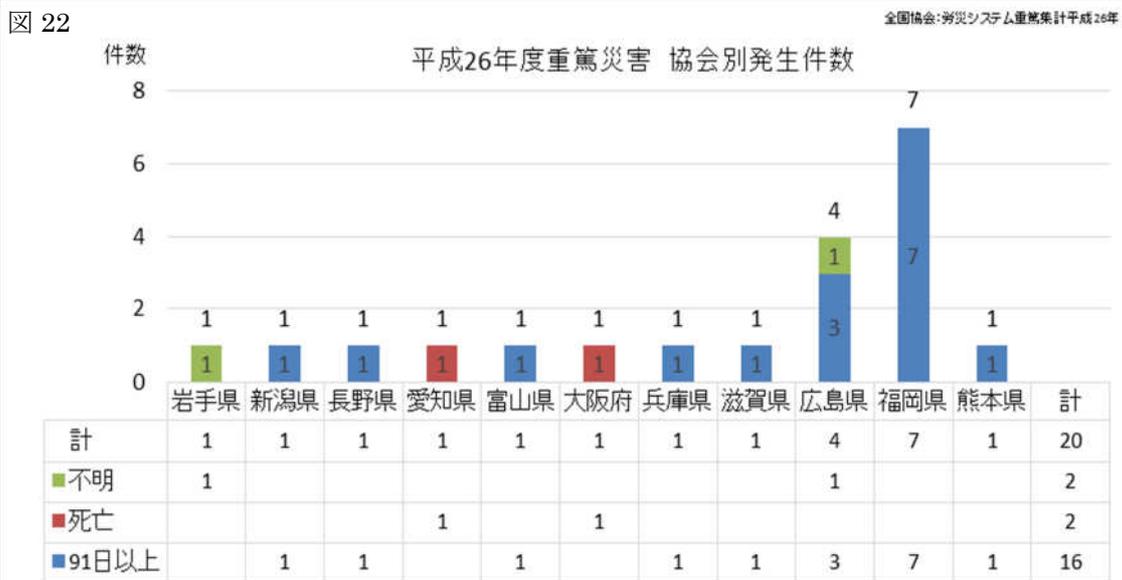


■重篤災害：休業日数 91 日以上又は死亡災害が発生した際は、「重篤災害」として速やかに会員企業⇒所属協会⇒地区本部⇒全協へご報告頂き、その都度、全協⇒各地区本部⇒各協会⇒各会員企業へフィードバックしているものです。

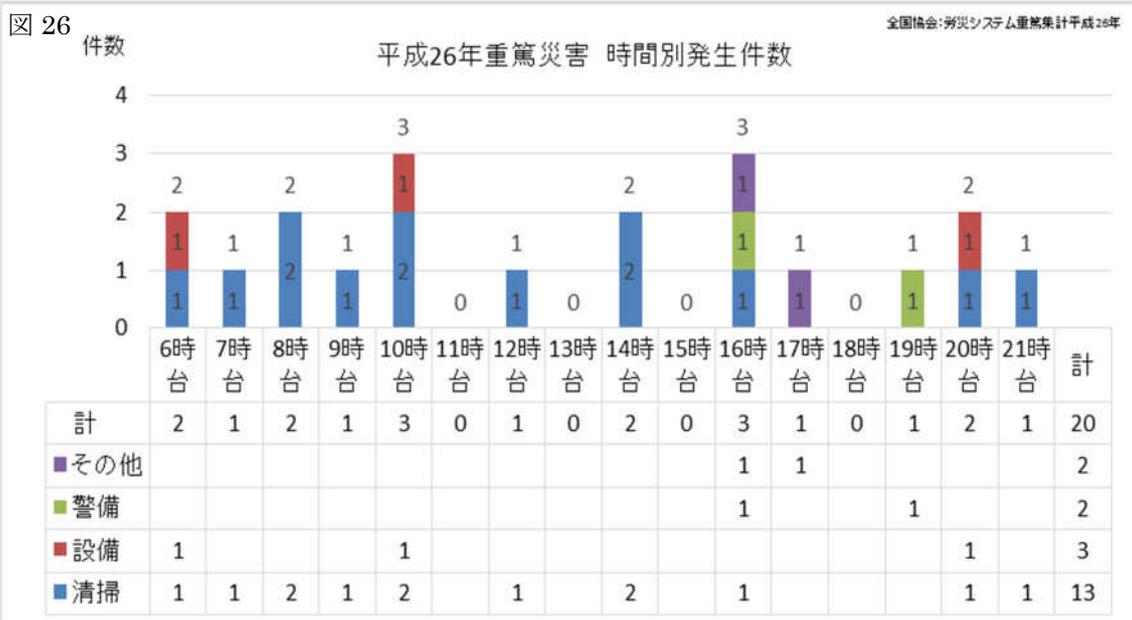
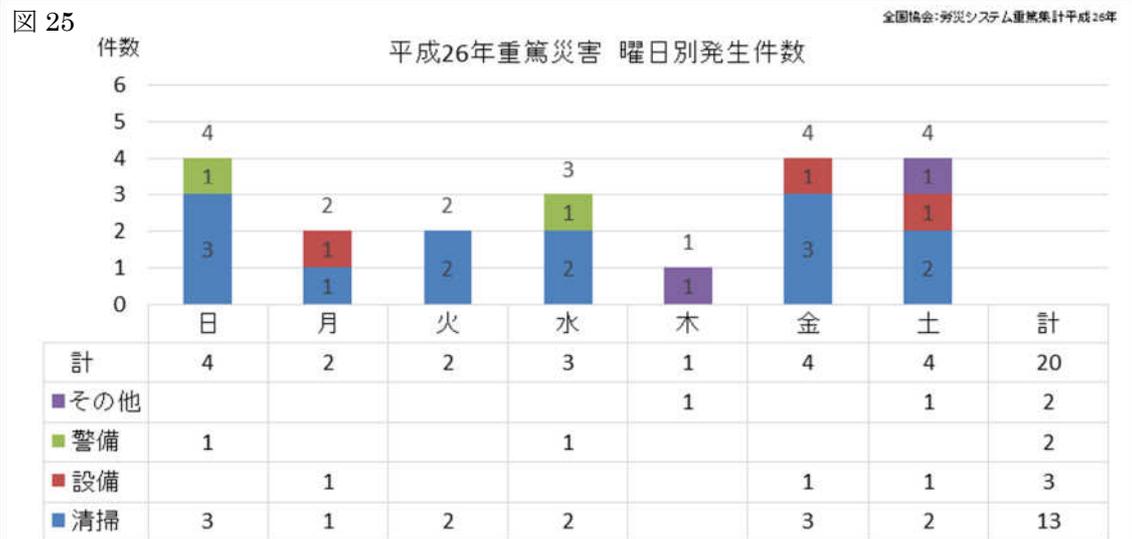
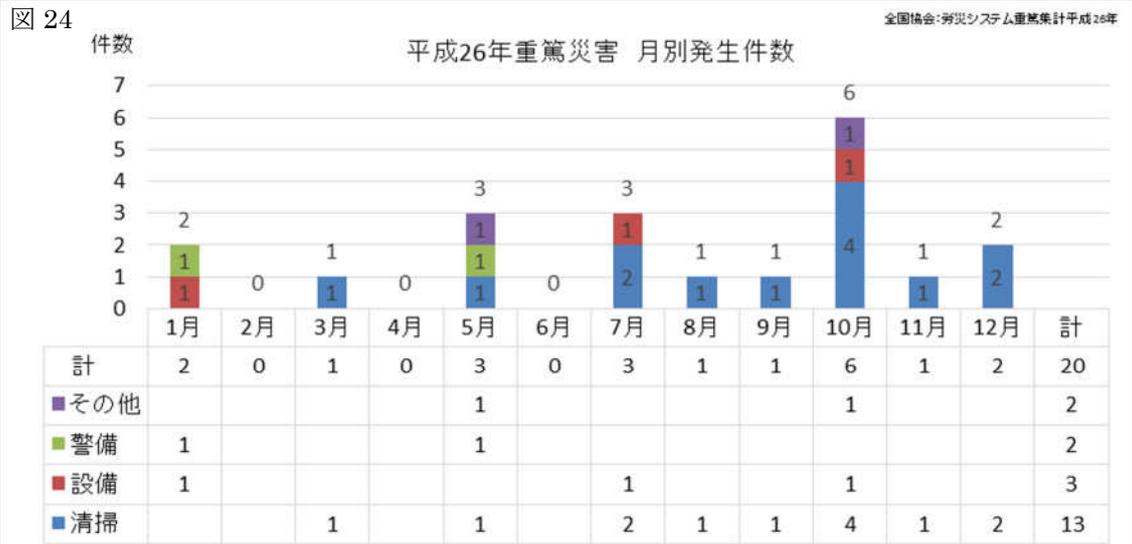
重篤災害（図 18、図 19、図 20）平成 26 年は直近 3 年で最も多い 20 件で、内 2 件は死亡災害でした。また、職種別では清掃業務が最も多く 13 件を占めています。



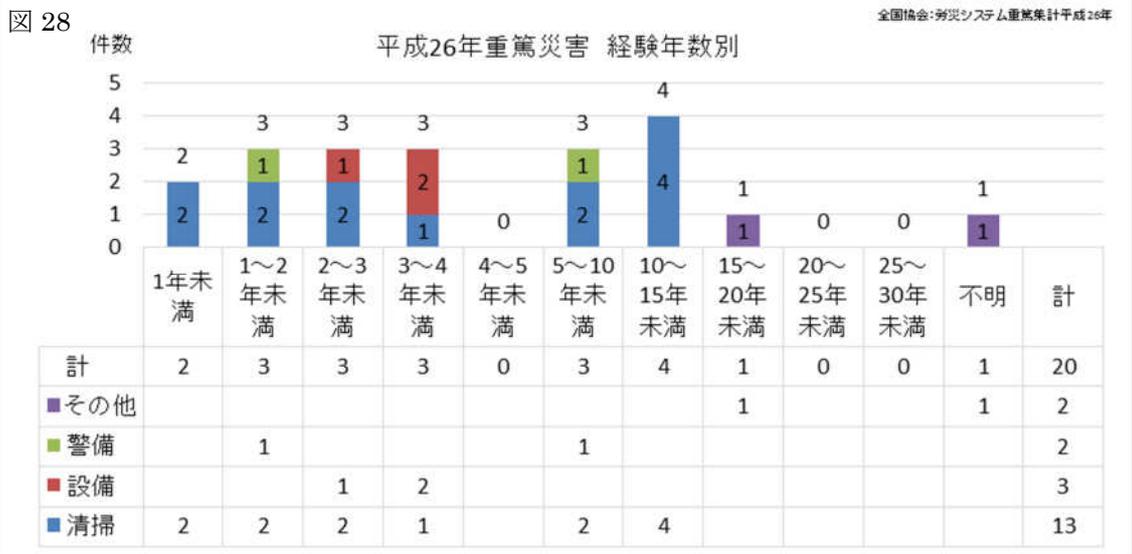
重篤災害（図 21、図 22、図 23）男女別では、男女ともそれぞれ 10 件で、女性は全て清掃業務です。協会別では、福岡 7 件、広島 4 件以外は全て 1 件で、事故の型別で多いのは、墜落・転落の 7 件、次いで転倒の 6 件となっています。



重篤災害（図 24、図 25、図 26）月別では 10 月の 6 件が最も多く、曜日別では、金、土、日の 4 件、時間別では 10 時台、16 時台の 3 件が多く、また、午前・午後では、ほぼ半々となっています。



重篤災害（図 27、図 28）年齢別では 60 歳以上の 15 件が最も多く、50 歳以上では 13 件全て清掃業務となっています。経験年数別では 10～15 年未満の 4 件が最も多く、清掃業務では初任者からベテランまで幅広く重篤災害が発生しています。



(表1) ご報告いただいた平成26年重篤災害の内容です。

平成26年 重篤災害報告内容																				
協会	災害区分	休業日数	災害発生年月日					災害発生場所			被災者情報									
			業務・通勤	平成	月	日	曜日	時	分	県	市	具体的場所	性別	年齢	職種	経験年数	災害部位	傷病名		
1	広島県	業務	91日・死亡	26	1	5	日	午後	19	27	広島県	広島市	広島工業大学敷地内	男	45	警備業務	6年8ヶ月	足首・脚部	複雑骨折	
		災害発生状況	広島工業大学敷地内において、夜間巡回中に傾斜のあるアスファルト道路に足をすべらせ倒壊へ転落した。																	
		考えられる原因	傾斜があることは認識していたが、傾斜の角度・幅などの認識が不十分であったため、慎重な動作を怠ったことに起因。																	
		再発防止対策	傾斜や段差など危険箇所についての認識を再徹底し、付近を巡回する際は慎重な動作をするよう警備員全員に徹底する。危険箇所については看板等を設置し注意喚起する。																	
2	大阪府	業務	死亡	26	1	6	月	午前	6	45	広島県	広島市	広島東ビル事務所	男	33	設備	3年6ヶ月	頭部	脳挫傷	
		災害発生状況	朝の設備巡回の為、屋上(14F)へ機械等の目視点検及び放水栓開閉の巡回点検中にキャットウォーク南側から身障者用駐車場へ転落したと思われる。																	
		考えられる原因	一人での設備巡回の為目撃者はなく不明																	
		再発防止対策	事業所で本部長も交え防止の安全対策を協議済み、キャットウォークへ上る作業時には必ず安全ロープを身体に結実して作業にあたることを確認し徹底する																	
3	福岡県	通勤	91日以上	26	3	28	金	午後	12	30	福岡県		路上	女	72	清掃	9年2ヶ月	腰	骨折	
		災害発生状況	午前中の仕事を終え帰宅途中、バスを降りて歩道を歩いていた。車道に出ようとしている車が歩道の車の流れが途切れるのを待って停車していたので車の前を横切ろうとしたところ、車の流れが途切れたので車が動き出し、接触し負傷した。																	
		考えられる原因	動こうとしている車の前を横切ろうとした。																	
		再発防止対策	エンジンのかかっている車の前を横切らない。																	
4	福岡県	業務	91日以上	26	5	1	木	午後	16	00	福岡県	久留米市		男	50	営業	15年0ヶ月	膝・踵	骨折	
		災害発生状況	天井部、断熱材を除去作業中に仮設台が転倒、本人も転落して骨折。																	
		考えられる原因	作業足場の安全確認ミス・作業方法の逸脱・現場責任者の安全作業指示・確認ミス																	
		再発防止対策	作業中、現場責任者への安全教育の徹底・安易に流れない作業ミーティングの実施・全部署に対して事故事例の報告、安全意識の向上を図る。																	
5	熊本県	業務	91日以上	26	5	4	日	午後	14	00	熊本県		国道	女	65	清掃	7年0ヶ月	左手橈骨	骨折	
		災害発生状況	トイレの清掃が終了し、使用したタオルを洗うに移動中、店のカウンター左側の横にあったゴミ箱の前に落ちていたおしぼりの袋を右足で踏み、滑って転倒し左手をついて負傷した。																	
		考えられる原因	現場の慣れに加え、足元の確認ミス。																	
		再発防止対策	作業員に対し、注意喚起を促した。																	
6	長野県	業務	91日以上	26	5	14	水	午後	16	00	長野県	長野市	ホテル駐車場	男	68	駐車場警備	1年3ヶ月	頭部	急性硬膜下血腫・けいれん発作・顔面腫痛	
		災害発生状況	勤務中にけいれんを起こし救急車で運ばれた。																	
		考えられる原因	5/10 20時10分頃、ホテル駐車場内にて車を誘導している際、車止めにつまづき倒れ、頭部を打ったときに出血していたのではないかと言うこと。																	
		再発防止対策	周りをよく確認しながら車を誘導し、会社もこのような事故が起きないよう、教育しなければならぬ。頭部を打った場合はすぐに病院で検査をする事。仕事中にけがをした場合は、周りの従業員と会社へ必ず報告するよう指導する。																	
7	滋賀県	業務	91日以上	26	7	2	水	午前	8	20	滋賀県	守山市	古高工業団地	女	73	清掃	3年4ヶ月	右大腿部	右大腿骨頸部骨折	
		災害発生状況	入口付近の従業員階段を上がろうとした際、後から同店の社員さんが急いで上がってきたのを感じ、その社員さんに先に走ってもらう為脇にぶつかった。しかし、その動作がうまくできず転倒し、2、3段下まで転落し負傷した。																	
		考えられる原因	後ろを気にして、階段の途中で余分な動作をした為																	
		再発防止対策	階段では慌てず行動する事																	
8	広島県	業務	不明	26	7	12	土	午前	10	20	広島県	広島市		男	61	設備	2年7ヶ月	脳	低酸素脳症	
		災害発生状況	技術員が排水設備中間処理装置の次車塩素脱色不足していた為補充を行う際、誤ってポリ塩化アルミニウムを投入した結果、強い臭気と発熱が発生、被災者と技術員Aにて槽内のゲル化した薬液を撤出して、被災者が途中で体調不良となった為、病院へ緊急搬送した。																	
		考えられる原因	作業員の単純ミス(思い込み、勘違い、注意不足)、ガスの危険性の理解不足。																	
		再発防止対策	薬剤及び設備の色別化の強化・徹底ガスの危険性マニュアルの再構築及び教育の徹底。																	
9	富山県	業務	91日以上	26	7	18	金	午前	10	15	富山県	富山市	洗浄室内	男	65	清掃	2年0ヶ月		心臓停止状態	
		災害発生状況	洗浄室内で高さ70cm程度の立ち馬りに乗り、壁の高所部分の清掃を行っていた際、立ち馬りから足が滑りバランスを失い落下した。																	
		考えられる原因	立ち馬りから足が滑りバランスを失った。																	
		再発防止対策	立ち馬りに乗る時には安心幅又はヘルメットを必ずかぶること。																	
10	福岡県	業務	91日以上	26	8	16	土	午後	21	50	福岡県		三瀬温泉まよひこの湯 招福の湯 脱衣所	女	65	フロント	2年6ヶ月	左手首	骨折	
		災害発生状況	閉館準備の為、招福の湯脱衣所の鏡の拭き掃除を脱衣所の椅子を踏み合にし、降り際に転倒した。																	
		考えられる原因	脱衣所の安定しない椅子を使用して掃除をした為。																	
		再発防止対策	清掃には用意してある2段脚立の使用を徹底する。																	
11	新潟県	業務	91日以上	26	9	24	水	午後	14	50	新潟県	佐渡市	特別養護老人ホーム	男	60	清掃	0年11ヶ月	左手	左橈骨遠位端骨折、左尺骨茎状突起骨折	
		災害発生状況	ガラス清掃中、正面玄関風除害で脚立に乗って作業中に降りようとした下段を踏み外してしまい、そのまま床面に倒れこんだ。その際身体を庇った左手にかなりの痛みを感じた為、すぐに病院に受診した。																	
		考えられる原因	わずかながら低い脚立のため「まさかこんな所でケガなんかするわけがない」という本人の過信に繋がった一歩の原因だと思われる。																	
		再発防止対策	「どのような状況でも事故に繋がる可能性はある」ということを肝に銘じ「この位」という過信をせずに常に注意力を持って作業に当たることを基本とした。																	
12	福岡県	業務	91日以上	26	10	5	日	午前	7	30	福岡県		福岡ビル地下2F	女	61	クリーン	10年5ヶ月	左腕	左橈骨遠位端骨折	
		災害発生状況	階段の清掃中にバランスを崩し転倒。																	
		考えられる原因	しゃがんで清掃をしていた姿勢を直そうとして立ち上がり、バランスを崩し転倒。																	
		再発防止対策	立ち上がる時には手摺もしくは壁に手を付き、ゆつりと足元に注意して立ち上がる。																	
13	岩手県	業務	不明	26	10	11	土	午後	17	00	岩手県	釜石市	釜石市営プール	男	65	その他	年	ヶ月	右足ひざ内側	火傷
		災害発生状況	釜石市営プールのボイラー室で、ボイラーの蒸気を排出する作業をしているときにボイラーの蒸気を排出する管の止め金がかかっていたため、蒸気が噴き出し右足のひざの内側をやけどした。																	
		考えられる原因	毎週土・日にボイラーの蒸気を排出する作業をしている。必ず朝行うようにしているが、行っていないため夕方帰りに急いで行ってしまった。																	
		再発防止対策	土・日の朝当番の者が忘れずに作業を行うこと。(注意書をする)帰りに急いで作業をしないようにする。																	
14	福岡県	業務	91日以上	26	10	14	火	午前	9	55	福岡県		請負先建物内の階段	女	67	清掃	12年6ヶ月	左腕、右腕骨、右肋骨	裂傷、骨折	
		災害発生状況	休憩をとる為、階段を降りた途中に足を踏み外し転倒。右腕の裂傷と右鎖骨及び右肋骨骨折した。																	
		考えられる原因	業務中の移動には注意を払っていたが休憩をとるという事で気が緩んでおり、考え事をして注意散漫になっていた。																	
		再発防止対策	休憩をとる際も建物内にいる時は常に業務中であるという認識を持つよう再教育。考え事・悩み等がある場合は直ぐに相談するように全体発信。																	
15	兵庫県	通勤	91日以上	26	10	24	金	午後	20	18	兵庫県	姫路市	本町68	男	66	設備	3年6ヶ月	右肩・右肘、肋骨、顔面	右肩関節脱臼、右多発肋骨骨折、顔面挫傷、右肘挫傷	
		災害発生状況	スクランブル交差点にて、車が信号の変わり目に加速、スタッフは信号を無視して横断を試みて衝突した。																	
		考えられる原因	スタッフの無謀な横断と車の前方不注意。																	
		再発防止対策	従来より安全衛生月報にて通勤交通ルール遵守を呼びかけていたがこのような事故が発生した。号外の災害情報を見逃さず現場スタッフへ書面にて発信し注意を促す。																	
16	愛知県	業務	死亡	26	10	26	日	午後	16	00	愛知県	名古屋		男	72	清掃	11年4ヶ月		転落死	
		災害発生状況	契約先の部屋、中央の明かり取り用の窓に日差しよけのビニールを直そうと脚立を使って高さ5メートル程の梁に上がったところ滑って転落して死亡した。																	
		考えられる原因	従事者が顧客から頼られ独自の判断で契約外の仕事をを行った。																	
		再発防止対策	労働安全体制の見直し及び従事者への指導																	
17	広島県	業務	91日以上	26	10	24	金	午前	10	00	広島県			女	70	清掃	1年4ヶ月	右手首	骨折	
		災害発生状況	公園内のレストランから10m位東に下った左側斜面から道路に降りる際、足を滑らせて道路側の溝にはまり転倒し左手首を骨折した。																	
		考えられる原因	危険予測ができていなかった。不注意																	
		再発防止対策	危険な場所はヘルメット・安全帯を使用する。朝礼でミーティングをし、危険な所は担当者が配置を決める。																	

18	広島県	業務	91日以上	26	11	29	土	午前	8	00	広島県		セブンイレブン階段	女	56	清掃	1	年	9	ヶ月	左足首	骨折
		災害発生状況	現場の階段が汚れていたため、水を流しながら清掃をしていた処、足を滑らし階段より滑落、しりもちをついた際に足首を負傷した。																			
		考えられる原因	汚れの残留および水で地面が滑り易い状況だったこと																			
		再発防止対策	滑り易い状況の場合には、滑り防止のついた靴を使用するなど、足元及び周りに注意を払うよう指導していく。																			
19	福岡県	通勤	91日以上	26	12	1	月	午前	6	50	福岡県	福岡市	野芥保育園付近	女	55	清掃	0	年	10	ヶ月	恥骨	骨折
		災害発生状況	自転車で通勤途中、車道から歩道にのりあげようとしたが段差をのぼりきれず、滑ってハンドルを取られて歩道に倒れた。																			
		考えられる原因	前日に雨が降り、路面も濡れていたためタイヤが滑りやすくなっていた。																			
		再発防止対策	十分注意して安全運転に努める。																			
20	福岡県	通勤	91日以上	26	12	2	火	午後	20	40	福岡県	福岡市	天神2-11-2	女	71	清掃	10	年	8	ヶ月	左足	左足大腿部骨折
		災害発生状況	帰宅中、天神でバス乗り換えのため歩いていたら、後方から来た自転車と振り向きざまに正面から衝突して後方に倒れ、骨折した。																			
		考えられる原因	自転車のスピード出し過ぎでハンドル操作ミス。																			
		再発防止対策																				